

# 学年末考査のポイント

## ～2年地学分野編～

令和3年2月8日

2月8日（月）に学年末考査の範囲表が配布されます。みなさんはどのような方法でテスト対策をしますか？以下の内容を参考に家庭学習を充実させましょう。

### 【今回のテスト範囲の Point !】

以下の Point を意識して、ワークを解きましょう。もし、よく理解できていないところがあったら自分でノートをまとめる or ワークの解説ではなく自分で解説を作ってみましょう。

※ 理解できたところは☑しましょう。すべての口に✓が入るように心がけよう。

#### ①空気中の水蒸気の変化

- 【実験】露点の測定方法を確認しよう。
- 飽和水蒸気量の意味を確認しよう。
- 飽和水蒸気量曲線を用いて次を読み取れるようにしておこう。  
『飽和水蒸気量』『露点』『実際に含まれている水蒸気の量』『冷やしたときに凝結した水滴の量』『さらに含むことのできる水蒸気の量』など
- 湿度の計算をマスターしよう。

#### ②雲ができるわけ

- 上空の気圧と気温について確認しよう。
- 【実験】雲をつくる実験の実験方法と結果から考察をまとめよう。
- 雲や雨、雪のでき方を確認しよう。
- 水の循環について確認しよう。

#### ③気圧配置と風

- 等圧線から気圧を読み取れるようにしよう。
- 等圧線をかけるようにしよう。
- 高気圧・低気圧の特徴を確認しよう。

#### ④前線と天気の変化

- 『寒冷前線』『温暖前線』『停滞前線』『へいそく前線』の特徴を確認しておこう。
- 前線の通過をグラフから読み取れるようにしよう。
- 前線の通過と天気の変化を確認しよう。

#### ⑤風について

- 海陸風・季節風と海洋の影響について確認しよう。
- 地球をとりまく大気の流れを確認しよう。

コツコツ取り組み最後まであきらめないことが  
成績 UP の近道！

